

28日から熱戦

第50回 社会人野球 日本選手権

主催・毎日新聞社 日本野球連盟
共催・大阪市

第50回社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社・日本野球連盟主催)は、大阪府共催の組み合わせ抽選会が8日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社にてMホールであり、出場32チームの1回戦の対戦カードが決まった。

住友金属を抜く歴代単独最多8回目の優勝を目指す前回王者のトヨタ自動車(愛知)は、四国銀行(高知)との初戦を迎える。2015年の日本生命(大阪)以来、史上4チーム目の「夏秋連覇」を狙う都市対抗王者の王子(愛知)は、日本製鉄山口と顔を合わせる。優勝3回の日本生命と優勝2回のSUBARU(群馬)は、優勝経験チーム同士で1回戦屈指の好カード。今年の都市対抗でも日本生命は連決勝まで勝ち進み、SUBARUも8強入りしており好調だ。

全日本クラブ選手権を2連覇したマツゲン(富山)と和歌山は2年連続で開幕試合を引き連ね、4大会連続出場の大宮ガスを対戦する。

王子 夏秋連覇狙う

大会は京セラドーム大阪を本拠地とするプロ野球・オリックスが日本シリーズに出場した場合を考慮し、28、30日、11月4、12日と日程を分けて計12日間で開催される。

【村上正】

出場32チームの対戦が次々と決まった第50回社会人野球日本選手権大会組み合わせ抽選会。三村政司撮影



マツゲン 2年連続開幕試合

第50回社会人野球日本選手権大会

東京ガス	28日10時
マツゲン	11月6日14時
FedEx	30日14時
NTT西日本	11月9日14時
東海製作所	28日14時
日本製鉄東海	11月6日18時
Honda熊本	29日10時
SUBARU	11月11日14時
日本生命	29日18時
北海道ガス	11月7日10時
JFE西日本	28日14時
東邦ガス	11月9日18時
三菱重工West	30日18時
明治安田	11月7日14時
西濃運輸	11月5日18時
三菱自動車岡崎	11月12日18時
日本製鉄鹿島	30日10時
Honda	11月7日18時
ミキハウス	28日18時
TDK	11月10日14時
NTT東日本	11月4日10時
王子	11月8日10時
日本製鉄山口	11月5日14時
四国銀行	11月11日18時
トヨタ自動車	11月4日18時
JR西日本	11月8日14時
Honda鈴鹿	11月4日14時
日本製鉄瀬戸内	11月10日18時
JR東海	11月5日10時
東カマ	11月8日18時
J西ヤ	11月6日10時

トヨタ自動車・藤原航平監督
四国銀行は投手陣が良い印象。日本一という目標を掲げている中、(最多で並ぶ)住友金属を超えて優勝回数で一位になりたい思いはある。主力より若いメンバーの底上げが鍵になる。

王子・湯浅貴博監督
連覇にふさわしいチームになっているのか、というところだ。思っている。『挑戦者』という言葉が、一番当てはまるのかなと思う。高崎(準覇)は投手陣の頑張りも期待したい。

マツゲン(富山)・西門宏広監督
(50回)節目の大会の開幕試合。きつといふところがある。今季のチーム力は歴代トップクラス。相手は強豪だが、強いチームに勝つこそ値打ちがある。立ち向かっていく姿を見せたい。

NTT東日本・北道昌監督
挑戦者のつもりで臨むのは変わらない。(都市対抗出場を逃した)悔しさを持って必ず取りに行きたい。選手を気持ちよくグラウンドに立たせられる準備をしたい。

西部ガス・松岡史敏監督
ヤマハは打撃がいいイメージ。都市対抗で一番を打っていたベテランの矢嶋(男)君が、いい仕事をしてくれる。上手を抑えて、中軸に走者がいない状態で回すのが鍵になる。

東海勢から10チーム

出場32チームのうち東海地区が約3分の1に当たる10チームも占める構図となった。

今季は春先から東海勢の快進撃が目立った。JR東海、トヨタ自動車、Honda鈴鹿、王子、ヤマハがJABA大会を制して日本選手権の出場権を獲得した。

さらに王子は九州大会の他に都市対抗で頂点に立ち、ヤマハは東北大会と北海道大会の二つで優勝したことで東海地区予選の出場枠が「3」から「5」に増えた。予選は

春先から快進撃 地区予選枠拡大

東海地区は都市対抗2回の日本選手権7回優勝、トヨタ自動車を筆頭に有力チームが多く、例年激戦区に位置付けられる。都市対抗4強のうち3チームが東海勢だった。

東海勢の勢いは日本選手権でも続いている。優勝の行方を見守る上で鍵を握りそう。

【河辺果歩】

鷺宮中心に混戦か Aブロック

Aブロックは多彩な顔ぶれがそろった。都市対抗で8強入りしたNTT西日本、鷺宮製作所を中心にした混戦模様だ。NTT西日本は右腕・浜崎浩大ら投手力が高く、鷺宮製作所は左腕・竹丸和幸、中軸の野村工ら投打のバランスがいい。Honda熊本、東京ガスは初戦敗退した都市対抗の雪辱を期す。FedExは出場チーム中最長ブランクの7大会ぶりの本大会。クラブチームのマツゲン(富山)は8回目の出場で悲願の初白星を目指す。

日本生命軸の戦い Bブロック

Bブロックは今夏の都市対抗4強の日本生命を軸とした戦いが予想される。谷脇弘起、斎藤礼二の両右腕を中心に投手陣が安定している。初戦で対戦するSUBARUは主軸の外山優希を中心に打線がしぶとい。前回大会4強のJFE西日本は都市対抗で好投した新人右腕・長野健太(けんた)に力がある。西濃運輸は長打力のある打線が投手陣を援護したい。都市対抗出場を逃した北海道ガス、東邦ガス、三菱重工West、明治安田の戦いぶりにも注目だ。

三菱自岡崎の挑戦 Cブロック

Cブロックには都市対抗優勝の王子、準優勝の三菱自動車岡崎が入った。王子は都市対抗で橋戸貴を獲得した右腕の丸谷和と新人左腕・樋口新の2本柱の働きに期待が懸かる。中軸の新人・柴崎聖人は長打力が光る。三菱自動車岡崎は左腕・秋山翔と右腕・秋山凌祐の二枚看板でどこまで勝ち上がれるか。前回準優勝のHondaは一発が狙える藤野隼大が打線をけん引する。TDKは、北畠衆人らが打線を引っ張る。都市対抗出場を逃したNTT東日本は雪辱を誓う。

トヨタ厚い投手層 Dブロック

Dブロックは前回覇者のトヨタ自動車を軸に熱戦が展開されそうだ。3年目左腕の増居翔太、経験豊富な右腕・嘉陽宗一郎投手層が厚い。リードオフマンの熊田任洋は長打を狙える。都市対抗4強のヤマハは一発がある新人・森川凌が強力打線の4番に座る。エース左腕の佐藤廉は多彩な変化球を制球良く操る。ベテランを制したHonda鈴鹿はベテランの10年目の畔上翔が健在だ。日本製鉄瀬戸内は3年目左腕・杉本壮志の出来が鍵を握る。